

平成24年度

第8回 倫理・利益相反委員会 会議記録概要

日 時：平成24年12月11日（火）15:00～17:00

場 所：第3会議室

出席者： 委員長 富永 祐民  
委 員 豊嶋 英明、岡村 幹吉、村上 健次、水谷博之、酒井 一、  
八谷 寛、鈴木 隆雄、鳥羽 研二、深田 修、寺西 正美

欠席者： なし

出席委員数/全委員数： 11人/11人

審議事項

申請課題数：新規申請課題 6件

合 計 6件

その他審議事項は特になし

申請課題について

No.1	<p>受付番号：613</p> <p>課題名：精神症状・行動異常（BPSD）を示す認知症患者に対する初期対応指針の有効性に関する研究</p> <p>申請者：服部 英幸</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果： 条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ガイドラインに基づく講義の有効性を検証するのか、ガイドライン自体の有効性を検証するのかを明確にすること。ガイドライン自体の有効性を検証するのであれば、調査期間前に非介入群に対してガイドラインを配布しない方がよいと思われる。ガイドライン自体の有効性を検証するにもかかわらず、調査期間前に配布するならその意義を明確に記載すること。</li> <li>・ 研究分担者の役割を記載すること。</li> <li>・ 様式1-1 10. に代諾者についての記載があるが、対象者が介護施設職員であるなら、記載は不要であると思われる。研究対象者を明確にしたうえで、説明書・同意書の記載も併せて整理すること。</li> <li>・ 研究を実施する介護施設において、当該研究に参加する旨の情報公開を利用者（被介護者）向けに行う必要があるので留意すること。</li> </ul>
No.2	<p>受付番号：614</p> <p>課題名：脳老化に伴う神経原線維変化形成機序に関する蛋白化学的研究</p> <p>申請者：吉田 裕孝</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果： 承認</p>
No.3	<p>受付番号：615</p> <p>課題名：日本人の慢性期慢性骨髄性白血病に対するダサチニブの継続性についての多施設共同臨床第Ⅱ相試験</p> <p>申請者：勝見 章</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果： 条件付承認（修正内容の確認をもって承認とする。）</p> <p>〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ダサチニブの服用期間を明示すること。</li> </ul>

No.4	<p>受付番号：616</p> <p>課題名：バイオバンクを利用した血中及び血球細胞における Micro-RNA プロファイルの網羅的解析—加齢・動脈硬化・心機能との関わりについて</p> <p>申請者：小久保 学</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果： 承認</p>
No.5	<p>受付番号：617</p> <p>課題名：信頼性記憶を利用した fMRI 認知負荷ストレステストの開発</p> <p>申請者：中井 敏晴</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果： 条件付承認 〈条件〉</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象者数算出の根拠を示すこと。</li> </ul>
No.6	<p>受付番号：618</p> <p>課題名：ロコモティブ・シンドローム（運動器症候群）患者に対するテルモ靴下の有効性の検討</p> <p>申請者：原田 敦</p> <p>審議内容：各小委員会からの意見について委員長より説明された。その意見を踏まえ、当該研究の倫理・利益相反の妥当性について審議された。</p> <p>審査結果： 承認</p>